

三多摩公立博物館協議会加盟館一覧

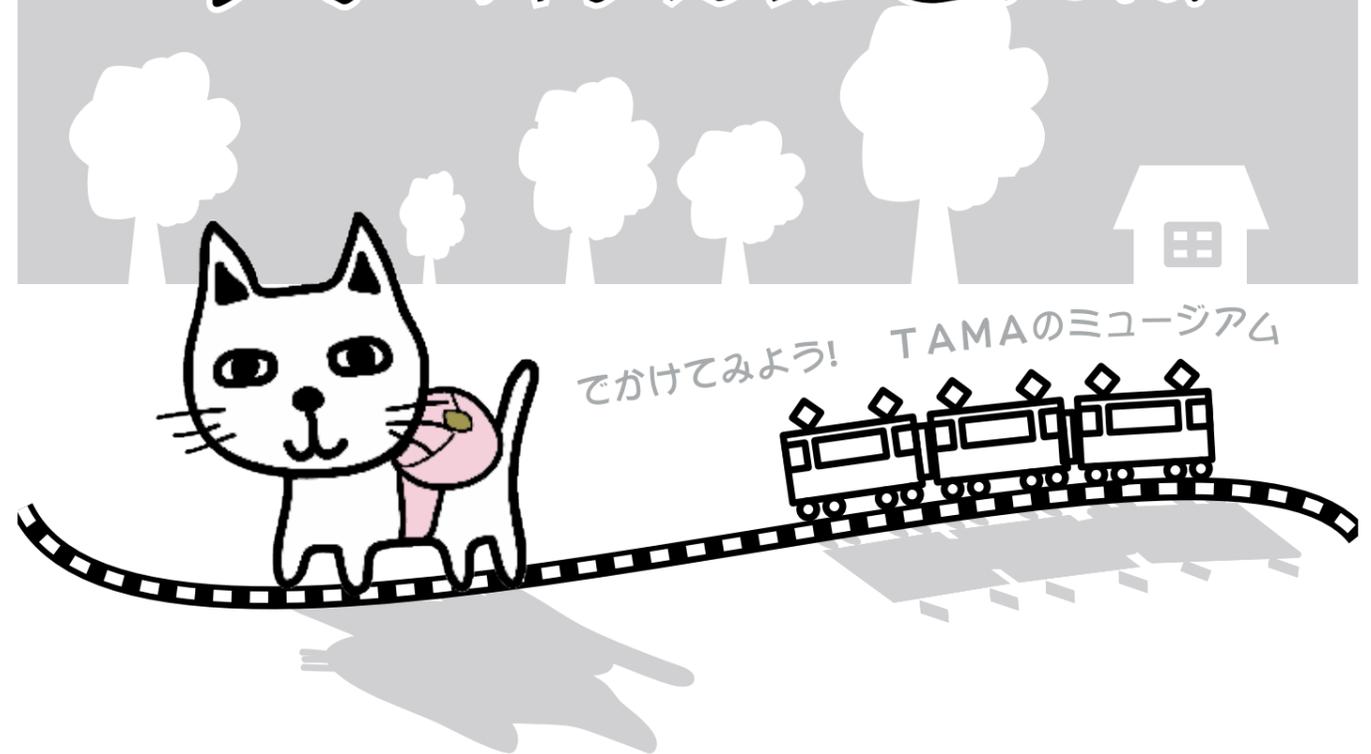
No.	館名	住所	電話	交通
1	奥多摩水と緑のふれあい館	〒198-0223 東京都西多摩郡奥多摩町原5	0428-86-2731	JR青梅線「奥多摩駅」から小河内方面行きバス「奥多摩湖」下車
2	檜原村郷土資料館	〒190-0211 東京都西多摩郡檜原村3221	042-598-0880	JR五日市線「武蔵五日市駅」から藤倉行きバス「郷土資料館」下車
3	たましん御岳美術館	〒198-0173 東京都青梅市御岳本町1-1	0428-78-8814	JR青梅線「御岳駅」下車、御岳溪谷遊歩道を約1.5km
4	青梅市郷土博物館	〒198-0053 東京都青梅市駒木町1-684	0428-23-6859	JR青梅線「青梅駅」下車徒歩15分
5	あきる野市五日市郷土館	〒190-0164 東京都あきる野市五日市920-1	042-596-4069	JR五日市線「武蔵五日市駅」下車徒歩17分
6	羽村市郷土博物館	〒205-0012 東京都羽村市羽741	042-558-2561	①JR青梅線「羽村駅」西口下車徒歩20分 ②東口コミュニティバスはむらん羽村西コース「郷土博物館」下車
7	コニカミノルタサイエンスドーム (八王子子ども科学館)	〒192-0062 八王子市大横町9-13	042-624-3311	JR中央線八王子駅、または京王線「京王八王子駅」からバス「サイエンスドーム」下車、徒歩2分。
8	八王子市郷土資料館	〒192-0902 東京都八王子市上野町33	042-622-8939	①JR中央線「八王子駅」南口から徒歩15分 ②JR中央線「八王子駅」南口からバス「東京家政学院」行き、「上野町三丁目」下車徒歩3分
9	集合住宅歴史館 (独立行政法人 都市再生機構)	〒192-0032 東京都八王子市石川町2683-3	042-644-3751	①JR八高線「北八王子駅」下車徒歩10分 ②JR八王子駅より大和田、東海大学病院経由宇津木台行「ケンウッド前」下車徒歩5分
10	福生市郷土資料室	〒197-0003 東京都福生市熊川850-1	042-530-1120	JR青梅線「牛浜駅」東口下車徒歩7分
11	瑞穂町郷土資料館(けやき館)	〒190-1202 東京都西多摩郡瑞穂町大字駒形富士山316-5	042-568-0634	JR八高線「箱根ヶ崎駅」下車徒歩20分
12	武蔵村山市立歴史民俗資料館	〒208-0004 東京都武蔵村山市本町5-21-1	042-560-6620	多摩モノレール「上北台駅」から武蔵村山市内循環バス三ツ木地区会館行き「かたくりの湯」下車徒歩1分
13	立川市歴史民俗資料館	〒190-0013 東京都立川市富士見町3-12-34	042-525-0860	JR「立川駅」南口から新道福島行き・富士見町操車場行きバス「団地西」下車徒歩5分
14	日野市郷土資料館	〒191-0042 東京都日野市程久保550	042-592-0981	①多摩都市モノレール・京王線「高幡不動駅」から百草団地方面バス「高幡台団地」下車徒歩5分 ②モノレール「程久保」下車徒歩7分
15	首都大学東京91年館	〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1	042-677-1111	京王相模原線「南大沢駅」下車徒歩約5分
16	東大和市立郷土博物館	〒207-0031 東京都東大和市奈良橋1-260-2	042-567-4800	西武拝島線「東大和市駅」から西武バス「イオンモール」行きで「八幡神社」、または都営バス「青梅車庫」行で「八幡神社前」下車徒歩2分
17	東村山ふるさと歴史館	〒189-0021 東京都東村山市諏訪町1-6-3	042-396-3800	西武新宿・国分寺線「東村山駅」西口下車徒歩8分
18	国立ハンセン病資料館	〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13	042-396-2909	西武池袋線清瀬駅南口から西武バス久米川駅行きで約10分(「ハンセン病資料館」で下車)
19	くにたち郷土文化館	〒186-0011 東京都国立市谷保6231	042-576-0211	JR南武線「矢川駅」下車徒歩8分
20	たましん歴史・美術館	〒186-8686 東京都国立市中1-9-52	042-574-1360	JR中央線「国立駅」南口前
21	パルテノン多摩歴史ミュージアム	〒206-0033 東京都多摩市落合2-35	042-375-1414	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5分
22	東京都立埋蔵文化財調査センター	〒206-0033 東京都多摩市落合1-14-2	042-373-5296	京王相模原線・小田急多摩線・多摩モノレール「多摩センター駅」下車徒歩5～7分
23	町田市立博物館	〒194-0032 東京都町田市本町田3562	042-726-1531	小田急線・JR横浜線「町田駅」から藤の台団地行きバス「市立博物館前」下車徒歩7分
24	府中市郷土の森博物館	〒183-0026 東京都府中市南町6-32	042-368-7921	京王線・JR南武線「分倍河原駅」から京王バス郷土の森総合体育館行きバス「郷土の森正門前」下車
25	小金井市文化財センター	〒184-0003 東京都小金井市緑町3-2-37 (浴恩館公園内)	042-383-1198	JR中央線「武蔵小金井駅」北口もしくは「東小金井駅」からココバス北東部循環③「小金井公園入口」下車徒歩5分
26	江戸東京たてもの園	〒184-0005 東京都小金井市桜町3-7-1	042-388-3300	JR中央線「武蔵小金井駅」北口からバス5分「小金井公園西口」下車徒歩5分
27	東京農工大学科学博物館	〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16	042-388-7163	JR中央線「東小金井駅」南口下車徒歩9分
28	清瀬市郷土博物館	〒204-0013 東京都清瀬市上清戸2-6-41	042-493-8585	①西武池袋線「清瀬駅」北口下車徒歩10分 ②駅北口バス乗り場1番から西武バス「郷土博物館入口」下車徒歩1分
29	多摩六都科学館	〒188-0014 東京都西東京市芝久保町5-10-64	042-469-6100	①西武新宿線「花小金井駅」北口より徒歩18分 ②西武新宿線「田無駅」よりはなバス多摩六都科学館行き
30	調布市郷土博物館	〒182-0026 東京都調布市小島町3-26-2	042-481-7656	京王相模原線「京王多摩川駅」下車徒歩4分
31	国立天文台天文機器資料館	〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1	0422-34-3688	中央線武蔵境駅南口から小田急バス「狛江駅行き」天文台前下車、京王線調布駅北口から小田急バス「武蔵境駅南口行き」天文台前下車
32	狛江市立古民家園 (愛称：むいから民家園)	〒201-0013 狛江市元和泉2-15-5	03-3489-8981	①小田急線狛江駅より徒歩10分②狛江駅北口より「多摩川住宅」行きバスまたは「こまバス」(北回り)で「児童公園」バス停前

三多摩公立博物館協議会

催し物案内2015年度秋・冬号

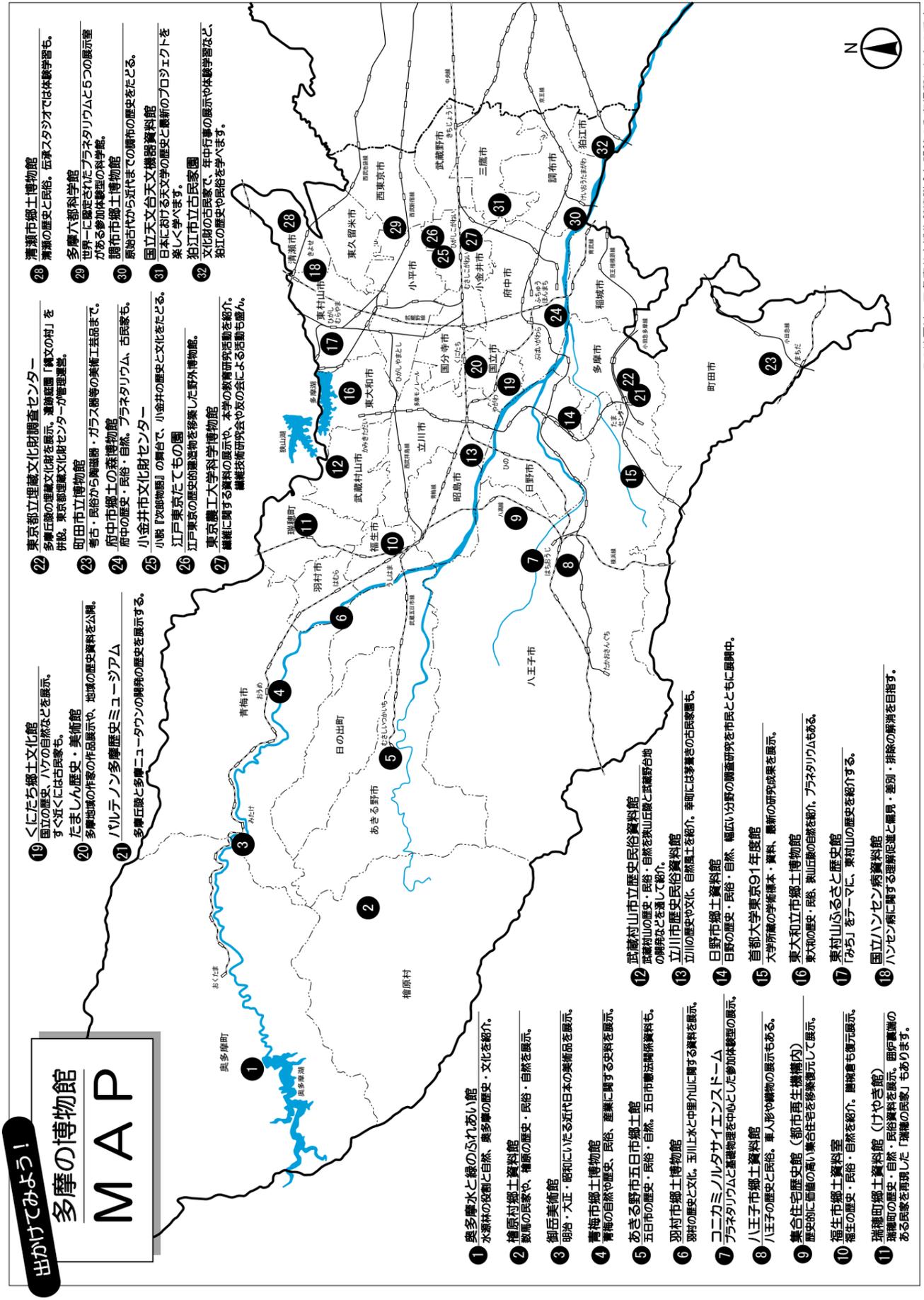
2015年10月～2016年3月

多摩の博物館さんぽ



東京都三多摩公立博物館協議会公式サイト「多摩の博物館に行こう」(<http://tamahaku.jp>)では、新しい情報を公開しています。  
「多摩の博物館さんぽ」とあわせてご活用いただき、  
多摩地域の博物館めぐりをお楽しみください!

出かけてみよう!  
多摩の博物館  
MAP



- 1 奥多摩水と緑のふれあい館 水廻りの庭園と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。
- 2 榎原村郷土資料館 数馬の歴史や、榎原の歴史・民俗・自然を展示。
- 3 御岳美術館 明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。
- 4 青梅市郷土博物館 青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する史料を展示。
- 5 あきる野市郷土館 五日市の歴史・民俗・自然。五日市書法関係資料も。
- 6 羽村市郷土博物館 羽村の歴史と文化。五川上と中里川に属する資料を展示。
- 7 コニカミナルトサイエンスドーム プラネタリウムと惑星物理を中心とした参加体験型の展示。
- 8 八王子市郷土資料館 八王子の歴史と民俗。車人形や博物館の展示もある。
- 9 集合住宅歴史館（都市再生機構内） 歴史的に価値の高い集合住宅を移築展示して展示。
- 10 福生市郷土資料館 福生の歴史・民俗・自然を紹介。郷土館も復元展示。
- 11 瑞穂町郷土資料館（千やき館） 瑞穂町の歴史・民俗・民俗資料を展示。旧戸草津の歴史を再現した「瑞穂の民家」もあります。
- 12 武蔵村山市立歴史民俗資料館 武蔵村山の歴史・民俗・自然を球山丘陵と武蔵野地の開発などを通して紹介。
- 13 立川市歴史民俗資料館 立川の歴史や文化、自然風土を紹介。幸町には移築された古民家も。
- 14 日野市郷土資料館 日野の歴史・民俗・自然。幅広い分野の調査研究を市民とともに展開中。
- 15 自和大学東京91年館 大学所蔵の学術書本・資料、最新の研究成果を展示。
- 16 東大立市郷土博物館 東大の歴史・民俗、東大の自然を紹介。プラネタリウムもある。
- 17 東村山ふるさと歴史館 「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。
- 18 国立ハンセン病資料館 ハンセン病に関する理解促進と雇員・差別・排除の解消を目指す。
- 19 くにたち郷土文化館 国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。
- 20 たましん歴史・美術館 多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。
- 21 パルテノン多摩歴史ミュージアム 多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。
- 22 東京都立埋蔵文化財調査センター 多摩丘陵の埋蔵文化財を展示。遺跡復元「真夏の村」を併設。東京都埋蔵文化財センターが管理運営。
- 23 町田市立博物館 考古・民俗から海軍艦艇・ガラス器等の美術工芸品まで。
- 24 府中市郷土の森博物館 府中の歴史・民俗・自然、プラネタリウム、古民家も。
- 25 小金井市文化財センター 小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。
- 26 江戸東京の歴史の遺産を移築した野外博物館。江戸東京の歴史と文化をたどる。
- 27 東京農工大学科学博物館 農学に関する資料の展示や、本学の調査研究活動を紹介。継続技術研究会や夜の会による活動も盛ん。
- 28 清瀬市郷土博物館 清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。
- 29 多摩六都科学館 世界一に認定されたプラネタリウムと5つの展示室がある参加体験型の科学館。
- 30 調布市郷土博物館 原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。
- 31 国立天文台天文機器資料館 日本における天文学の歴史と最新のプロジェクトを、楽しく学べます。
- 32 狛江市立古民家園（愛称：むいから民家園） 文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。

この地図は、三多摩公立博物館協議会加盟館のみを掲載したものです。

### 28 清瀬市郷土博物館 (042-493-8585)

清瀬の歴史と民俗。伝承スタジオでは体験学習も。

開館時間	9:00 ~ 17:00	休館日	月曜日 (祝日の場合は翌日) 12.29 ~ 1.3	入館料	無料
------	--------------	-----	-------------------------------	-----	----

- 西武池袋線開業100周年・清瀬市郷土博物館開館30周年記念企画展「西武池袋線池袋～飯能間ぶらりスケッチ 南雲義男作品展」(10.3～18)  
清瀬市在住の南雲義男氏による西武池袋線池袋～飯能間の風景スケッチ作品を紹介。
- 企画展「第30回清瀬美術家展」(11.14～23)  
清瀬美術家懇話会会員および招待作家による絵画・彫刻作品を紹介する毎年恒例の企画展。
- 企画展「染める・織る・縫う」(2016.3.5～13 予定)  
当館主催の染物・はたおり・和裁教室の参加者と講師・活動グループの作品展。

【URL】 <http://www.city.kiyose.lg.jp/>

### 29 多摩六都科学館 (042-469-6100)

世界一に認定されたプラネタリウムと5つの展示室がある参加体験型の科学館。

開館時間	9:30 ~ 17:00 (入館は16:00まで)	休館日	月曜日 (祝日の場合は翌日)、 祝日の翌日、年末年始 (12.28 ～1.3)、その他臨時休館あり	入館料	大人500円、小人(4歳～高校生)200円、 プラネタリウム、大型映像は別料金
------	---------------------------	-----	---	-----	--

- 西武鉄道100周年記念 秋の特別企画展「GO!GO!たまるくトレイン 鉄道のひみつ大解剖」(9.19～10.25)
- 第15回日本万華鏡大賞・多摩展 (10.10～11.3)
- 生解説プラネタリウム (約2か月ごとにテーマを変えて毎日投影)
- 大型映像「オーロラの調べ～神秘的の光を探る～」(10.10～2016.2.28)
- 冬の特別企画展「KAGAYA 写真展 オーロラと星座の世界」(12.5～12.27)

【URL】 <http://www.tamarokuto.or.jp>

### 30 調布市郷土博物館 (042-481-7656)

原始古代から近代までの調布の歴史をたどる。

開館時間	9:00 ~ 16:00	休館日	月曜日 (祝日の場合は翌日) 12.29 ~ 1.3	入館料	無料
------	--------------	-----	-------------------------------	-----	----

- 市制施行60周年記念特別展「考古資料でたどる調布の3万年」(10.6～11.29)  
市指定文化財をはじめ、旧石器時代から近代までの考古資料を展示し、調布3万年の歴史をたどります。
- 郷土学習展「ちょっと昔のくらし」(2016.1.5～3.6) ちょっと昔の道具から郷土の暮らしを紹介します。
- 【移動展】郷土博物館以外の会場で行う展示
- 市制施行60周年記念特別展「描かれた調布」(10.2～10.25)  
郷土博物館収蔵の美術品の中から調布市域の風景を描いた江戸時代から現在までの絵巻・木版本・浮世絵・版画・油彩画等を展示します。[会場] たづくり1階展示室
- 市制施行60周年記念「調布のあゆみ」展(仮) (12.3～12.10) 地図や写真、調布市内で行われたさまざまなイベントの資料等を展示し、調布市の60年の歩みを振り返ります。[会場] たづくり南ギャラリー  
※会場へのアクセスは「文化会館たづくり」(<https://www.chofu-culture-community.org/>) ホームページをご参照ください。

【URL】 <http://www.city.chofu.tokyo.jp/www/contents/1176118850606/index.html>

### 31 国立天文台天文機器資料館 (0422-34-3688)

日本における天文学の歴史と最新のプロジェクトを、楽しく学べます。

開館時間	10:00 ~ 17:00 (入場は16:30まで)	休館日	年末年始 (12.28 ~ 1.4)	入館料	無料
------	----------------------------	-----	--------------------	-----	----

- 国立天文台では、10月23日、24日に年1回の特別公開「三鷹・星と宇宙の日」を開催します。今年のメインテーマは”アストロバイオロジーへの挑戦”です。普段は見学できない施設の公開や、プロジェクトの紹介など趣向を凝らした展示・公開と、メインテーマにちなんだ講演会もお楽しみいただけます。詳しくはURLをご覧ください。

【URL】 <http://www.nao.ac.jp/access/mitaka/>

### 32 狛江市立古民家園 (愛称：むいから民家園) (03-3489-8981)

文化財の古民家で、年中行事の展示や体験学習など、狛江の歴史や民俗を学べます。

開館時間	9:30 ~ 16:30	休館日	月曜日 (祝日の場合は翌日) 年末年始 (12.28 ~ 1.4)	入館料	無料
------	--------------	-----	--------------------------------------	-----	----

- 10月・11月は、かまどを使ってご飯を炊いたり (かまどでご飯)、民家園の畑で栽培した蕎麦の実を使って、蕎麦打ち体験などを行う予定です。年末には、お正月を迎えるための餅つき、年始には正月飾りの展示や「こまね初春まつり」のサブ会場として、お囃子の演奏や正月遊びを行う予定です。また、まゆ玉飾りの展示も行います。2月・3月には、節分や桃の節句にちなんだ行事を実施する予定です。

【URL】 <http://www.city.komae.tokyo.jp/index.cfm/45,0,349,2096.html>

23	<b>町田市立博物館（042-726-1531）</b>				
	考古・民俗から陶磁器・ガラス器等の美術工芸品まで。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合開館、翌日休館）、展示替期間、資料整理期間、館内整理期間	入館料	一般300円※中学生以下無料、障がい者半額
<ul style="list-style-type: none"> <li>●「沖縄の工芸—琉球ガラス・陶磁器・染織・琉球漆器—」（9.8～9.27、9.29～10.18） 町田市では毎年9月に、エイサーの演舞を中心とした祭りである「フェスタまちだ」が開催されるなど、沖縄の文化は町田市民にとって馴染み深いものとなっています。その「フェスタまちだ」の開催時期にあわせ、町田市立博物館では沖縄の工芸の中から「ガラス」「漆器」「染織」「陶磁器」を取り上げ、その技法や制作工程に着目しながら紹介します。</li> <li>●「国立能楽堂コレクション 能・狂言の面と装束」（10.31～11.23、11.28～12.20） 能楽の振興・普及を目的とし設立された国立能楽堂が30年をかけて、調査・収集した近世の能狂言面、装束を中心に約100点を展示。能狂言面、装束を種別ごとに分りやすく紹介します。</li> <li>●「懐中時計」（2016.1.9～3.6）18世紀から20世紀のヨーロッパ・アメリカの懐中時計を展示。一部の作品では蓋を開けて展示をしたり、内部の拡大写真を飾ったりして、精巧なムーブメントも楽しめる展覧会です。 【URL】<a href="http://www.city.machida.tokyo.jp/">http://www.city.machida.tokyo.jp/</a></li> </ul>					

24	<b>府中市郷土の森博物館（042-368-7921）</b>				
	府中市の歴史・民俗・自然。プラネタリウム、古民家も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3 年末年始	入館料	大人200円 4歳～中学生100円
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展「ムダ堀の謎をさぐる」（10.10～2016.3.31）玉川上水を掘削しようとして失敗した痕跡だと伝えられる巨大な溝跡「ムダ堀」。にわかには信じがたい伝承を持つこの溝跡が、いつ、どこから、どこへ向かって、何のために掘られたのか…発掘成果と絵図や古地図、古文書をもとに、その謎に迫ります。</li> <li>●特別展「カイコとくらしのむかし」（仮）（2016.2.6～3.13） 江戸時代から昭和にかけての養蚕の歴史や道具を紹介し、カイコと暮らしたむかしを再現します。</li> <li>●郷土の森まつり（2016年2月～3月中旬）園内に咲き誇る梅の花をお楽しみください。 【URL】<a href="http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html">http://www.fuchu-cpf.or.jp/museum/index.html</a></li> </ul>					

25	<b>小金井市文化財センター（042-383-1198）</b>				
	小説『次郎物語』の舞台で、小金井の歴史と文化をたどる。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 12.29～1.3 館内整備のための臨時休館日	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●作家下村湖人が青年団講習所の所長として講習生と語り、小説『次郎物語』の構想を練った浴恩館を改修して資料館としたものです。市内の考古資料・古文書・民具をもとに、小金井市のあゆみや生活について常設展示しています。</li> <li>●企画展「戦時下の生活」（11.3～12.20） ●文化財講演会「東京の橋と平右衛門橋」（11.7）</li> <li>●史跡めぐり「玉川上水周辺の文化財を歩く」（11.14） ●古文書講座（予定）（2015.2月下旬～3月中旬、3回） 【URL】<a href="http://tamahaku.jp/kojin/">http://tamahaku.jp/kojin/</a></li> </ul>					

26	<b>江戸東京たてもの園（042-388-3300）</b>				
	江戸東京の歴史的建造物を移築した野外博物館。				
開館時間	9:30～16:30（入園は16:00まで）	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始	入館料	大人400円、中（都外）高生200円 大学生320円、65才以上の方200円 小中（都内）無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●展示室「東京郷土資料陳列館ものがたり —東京の地域博物館 事始め—」（7.28～2016.2.21）</li> <li>●秋のイベント「体験！発見！職人さん」（10.10・11） 【URL】<a href="http://www.tatemonoen.jp/">http://www.tatemonoen.jp/</a></li> </ul>					

27	<b>東京農工大学科学博物館（042-388-7163）</b>				
	繊維に関する資料の展示や、本学の教育研究活動を紹介。繊維技術研究会や友の会による活動も盛ん。				
開館時間	10:00～17:00（入館は16:00まで）	休館日	日曜・月曜・祝日、5月31日（創立記念日）、年末年始等	入館料	常設展無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●特別展「東京シルク展」（10.23～） 多摩の養蚕農家による「東京シルク」。「東京の蚕糸・絹のふるさとと創生」をテーマに展示と実演を行います。（その他、企画展、イベント随時行っております詳細はHPをご覧ください。） 【URL】<a href="http://www.tuat.ac.jp/~museum/">http://www.tuat.ac.jp/~museum/</a></li> </ul>					

1	<b>奥多摩水と緑のふれあい館（0428-86-2731）</b>				
	水源林の役割と自然、奥多摩の歴史・文化を紹介。				
開館時間	9:30～17:00	休館日	水曜日（祝日の場合は翌日） 12.28～1.4	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●都民の日記念行事（10.1）小河内ダムに関するビデオ上映等</li> <li>●ヘブンアーティスト公演（10.11）12:00及び14:00の2回公演（各回60分位） 東京都公認ヘブンアーティストのパフォーマンス</li> <li>●秋のミニコンサート（11.14・15）11:30及び13:30の2回公演（各回40分位）都民交響楽団有志による演奏</li> <li>●川野「車人形」上演（3月中旬）（予定）小河内の郷土芸能「川野車人形」の上演 【URL】<a href="http://www.okutama.gr.jp/">http://www.okutama.gr.jp/</a></li> </ul>					

2	<b>檜原村郷土資料館（042-598-0880）</b>				
	数馬の民家や、檜原の歴史・民俗・自然を展示。				
開館時間	4月～11月 9:30～17:00 12月～3月 10:00～16:00	休館日	火曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●当館では「自然と観光」「歴史と民俗」の2つをテーマに景観や動植物、遺跡発掘時の出土品及び民具並びに兜式入母屋造りと呼ばれる古民家の模型などを展示。又、村の祭りを紹介するレーザーディスクや自然の移り変わり及び村の諸行事を収めたDVD「檜原歳時記」（ブルーレイ・ハイビジョン）の鑑賞が常時可能。</li> <li>●常設展「自然と観光」「歴史と民俗」</li> <li>●特別展「檜原村山野草標本展」（10.1～10.31）檜原村内で採取した山野草の標本113点を展示する。</li> <li>●「まゆ玉飾り」（2016.1.10～1.15）家内安全と五穀豊穡を祈願した、村に古くから伝わる小正月の行事。</li> <li>●「檜原村野鳥写真展」（2016.2.14～2.28）檜原村で撮れた野鳥の写真20点を展示する。 【URL】<a href="http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/contents/sisetu/siryoukan/siryoukan.html">http://www.vill.hinohara.tokyo.jp/contents/sisetu/siryoukan/siryoukan.html</a></li> </ul>					

3	<b>たましん御岳美術館（0428-78-8814）</b>				
	明治・大正・昭和にいたる近代日本の美術品を展示。				
開館時間	10:00～16:30 （11月～3月は16:00まで）	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日） 年末年始	入館料	一般500円、高大生400円 小中生300円
<ul style="list-style-type: none"> <li>●企画展示 近代美術の流れ—描く人・描かれる人—（10.4～2016.2.14） 倉田三郎記念室「倉田三郎 旅の素描—旅で出会ったひとびと・北米および中南米—」 第1展示室 たましんコレクションより 常設展示「日本近代彫刻の魁 新宿中村屋の作家たち」 ギャラリートーク（10.18）（11.15）各日11:00～・13:00～</li> <li>●スケッチの日【御岳美術館開館記念日】（11.1）（11.3） *当日ご来館の方には記念品をプレゼント！ 【URL】<a href="http://www.tamashin.or.jp/mitake/index.html">http://www.tamashin.or.jp/mitake/index.html</a></li> </ul>					

4	<b>青梅市郷土博物館（0428-23-6859）</b>				
	青梅の自然や歴史、民俗、産業に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌平日） 12.29～1.3	入館料	無料
<ul style="list-style-type: none"> <li>●「新収蔵品展2015」（10.17～11.23）平成26年度に寄贈を受けた様々な新収蔵資料を展示します。</li> <li>●企画展「青梅の峠と坂」（仮）（12.5～2016.1.17） 青梅には、多くの峠と坂が存在しています。身近な峠と坂を、付近に伝わる昔話を絡め紹介します。（仮）</li> <li>●企画展「中世青梅の文化」（仮）（2016.1.30～4.10）（仮） 中世青梅の文化について紹介します。（仮） 【URL】<a href="http://www.ome-tky.ed.jp/shakai/kyodo/index.html">http://www.ome-tky.ed.jp/shakai/kyodo/index.html</a></li> </ul>					

5	<b>あきる野市五日市郷土館（042-596-4069）</b>				
	五日市の歴史・民俗・自然。五日市憲法関係資料を展示。				
開館時間	9:30～16:30	休館日	火、水曜日、祝日 (水曜日が祝日の場合は翌日も) 年末年始	入館料	無料
<p>●常設展示 五日市郷土館では、歴史・生活・民俗芸能・自然、化石などの展示のほか、五日市憲法草案や日本で初めてナイチンゲール記章を受賞した萩原タケの功績を紹介しています。</p> <p>●企画展示「五日市鉄道創業時を振り返って～開業90周年～」(～12.20) 五日市鉄道創業時の状況を中心にパネルで展示しています。</p> <p>●旧市倉家住宅での歳時事業 秋季期間(10～12月まで) 十五夜の飾付、大麦・小麦の種蒔、のらぼう菜苗の植付、破魔矢・羽子板展示、餅つき、さつまいも収穫 冬季期間(2016年1～3月まで) 繭玉飾り、雛人形の展示、のらぼう菜の収穫 【URL】<a href="http://www.city.akiruno.tokyo.jp/contents_detail.php?co=cat&amp;frmlid=1285&amp;frmCd=3-4-4-0-0">http://www.city.akiruno.tokyo.jp/contents_detail.php?co=cat&amp;frmlid=1285&amp;frmCd=3-4-4-0-0</a></p>					

6	<b>羽村市郷土博物館（042-558-2561）</b>				
	羽村の歴史と文化。玉川上水と中里介山に関する資料を展示。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日の場合は開館) 12.29～1.3	入館料	無料
<p>●羽村市郷土博物館30周年記念特別展「玉川上水羽村堰～今に生きる先人の知恵と工夫～」(8.15～12.23) 連続講座(11.7・22・28、12.5)／羽村堰見学会(10.25)</p> <p>●ミニ展示「ホオジロガモ」(10.3～12.23) ●季節かざり「お正月かざり」(2016.1.5～1.17)</p> <p>●企画展「むかしのくらし」(2016.1.10～1.24)</p> <p>●体験学習会「まゆ玉だんごをつくろう」(2016.1.9) ●季節かざり「まゆ玉かざり」(2016.1.10～1.16)</p> <p>●企画展「ひな人形展」(2016.2.6～3.6) 【URL】<a href="http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html">http://www.city.hamura.tokyo.jp/0000005474.html</a></p>					

7	<b>コニカミノルタサイエンスドーム（八王子市子ども科学館）（042-624-3311）</b>				
	プラネタリウムと基礎物理を中心とした参加体験型の展示。				
開館時間	10:00～17:00(ただし火～金曜 9:00～12:00は事前予約団体専用)	休館日	月曜日、祝日の翌日、年末年始 など	入館料	大人200円、4歳～中学生100円 (プラネタリウム料金別)
<p>●プラネタリウム上映番組(10.17～11.29)「かいけつゾロリ～宇宙たんけん大さくせん」「大恐竜時代～恐竜パッチの大冒険」「ノーマン・ザ・スノーマン～北の国のオーロラ」を上映中。各番組の前半には当日の星空についての生解説もあります。上映時間等詳細はお問い合わせください。</p> <p>●わくわくサイエンス講座「ドングリを学んでドングリで遊ぼう」(10.18) ●H0ゲージ鉄道模型走行実演(11.21・22)</p> <p>●「星空コンサート」「星空観望会」を随時開催。また土日祝には親子で楽しめる「工作教室」「科学実験ショー」「おもしろ生きもの講座」などを開催しています。 【URL】<a href="http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/gakushu/sciencedome/">http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/gakushu/sciencedome/</a></p>					

8	<b>八王子市郷土資料館（042-622-8939）</b>				
	八王子の歴史と民俗を紹介。車人形や織物の体験も。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日(祝日・休日の場合は翌日)、祝日・休日の翌日、年末年始、その他館内整理日	入館料	無料
<p>●コーナー展「八王子の鉄道」(11.1～12.6) 八王子の鉄道に関する資料を展示します。</p> <p>●コーナー展「七福神 八王子の恵比寿・大黒」(12.20～2016.1.17 ※12.28～2016.1.4は休館)</p> <p>●特別展「八王子の指定文化財」(2016.2.16～3.25) 近年新たに指定された文化財を中心に、八王子市の指定文化財を紹介します。 【URL】<a href="http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/rekishibunkazai/kyodoshiryokan/index.html">http://www.city.hachioji.tokyo.jp/kyoiku/rekishibunkazai/kyodoshiryokan/index.html</a></p>					

9	<b>集合住宅歴史館（独立行政法人 都市再生機構）（042-644-3751）</b>				
	歴史的に価値の高い集合住宅を移築復元して展示。				
開館時間	13:30～16:30	休館日	土・日曜日、祝日、年末年始 (2013年4月～)	入館料	無料 ※事前予約制
<p>●関東大震災復興のため建設された“同潤会代官山アパート”、戦後の住宅不足解消のため建設された“公団住宅”の一部を移築復元。実際に住戸の中に入ってご覧いただけます。</p> <p>●展示内容 同潤会代官山アパート：“独身住戸”、“世帯住戸”、公団住宅：“蓮根団地2DK”、“晴海高層アパート廊下階住戸”、“晴海高層アパート非廊下階住戸”、“多摩平団地テラスハウス”、“住宅設備の変遷”など</p> <p>●見学方法 事前予約制のため予め電話・ホームページで申込みください。 【URL】<a href="http://www.ur-net.go.jp/rd/">http://www.ur-net.go.jp/rd/</a></p>					

18	<b>国立ハンセン病資料館（042-396-2909）</b>				
	ハンセン病に関する理解促進と偏見・差別・排除の解消を目指す。				
開館時間	9:30～16:30(入館は16:00まで)	休館日	月曜および「国民の祝日」の翌日、年末年始、館内整理日	入館料	無料
<p>●2015年度秋季企画展「私立ハンセン病療養所 待労院の歩み ―創立から閉院までの115年―」(10.3～12.26) 2013年1月に閉鎖したカトリック系の私立ハンセン病療養所「待労院」について、その115年にわたる歩みを展示します。 【URL】<a href="http://www.hansen-dis.jp/">http://www.hansen-dis.jp/</a></p>					

19	<b>くにたち郷土文化館（042-576-0211）</b>				
	国立の歴史、ハケの自然などを展示。すぐ近くには古民家も。				
開館時間	9:00～17:00 (入館は16:30まで)	休館日	第2、第4木曜日(祝日の場合は翌日) 12.29～1.3	入館料	無料
<p>●企画展「村の明治”医”新」(10.10～12.8) 明治時代に入り、谷保村の人々におこった”医”にまつわる様々な変化について、初公開となる谷保の医者本 田家資料などを展示します。</p> <p>●講演会「民間信仰と病(仮)」(11.1) 13:30～15:00</p> <p>●講演会「近代化と伝染病対策(仮)」(11.22) 13:30～15:00</p> <p>●講演会「幕末本田家の医療活動(仮)」(11.29) 13:30～15:00 ※講演会の申し込みは10月6日(火)9:30からお電話で受け付けます。 【URL】<a href="http://www.kuzaidan.com/province/">http://www.kuzaidan.com/province/</a></p>					

20	<b>たましん歴史・美術館（042-574-1360）</b>				
	多摩地域の作家の作品展示や、地域の歴史資料を公開。				
開館時間	10:00～18:00 (入館は17:30まで)	休館日	月曜日、祝日 年末年始	入館料	100円 ※中学生以下無料
<p>●『多摩のあゆみ』創刊40周年記念 多摩の人・多摩の風景(9.15～12.10) ギャラリートーク(10.23)14:00～</p> <p>●東洋古陶磁展(2016.1.6～3.6) ギャラリートーク 会期中開催予定 【URL】<a href="http://www.tamashin.or.jp/r_bijutsu/index.html">http://www.tamashin.or.jp/r_bijutsu/index.html</a></p>					

21	<b>パルテノン多摩歴史ミュージアム（042-375-1414）</b>				
	多摩丘陵と多摩ニュータウンの開発の歴史を展示する。				
開館時間	10:00～18:00	休館日	不定休 (10.6・7、11.18・19、12.28～1.3、2.16～18、3.9・10)	入館料	無料
<p>●特定点撮影プロジェクト写真展「多摩ニュータウンの移り変わり」(9.11～2016.1.18) 8年目を迎えた定点撮影プロジェクトの成果をもとに、多摩ニュータウンの昔と現在の写真を比較し、移り変わりと記録の重要性について考えます。</p> <p>●コーナー展示(実習生展示)①「1964年 東京オリンピックの頃の多摩」②「野草を食べる 今昔」(～2016.1.1)</p> <p>●ミニ企画展「謎の古墳の探偵団2 下村静治と中学生の稲荷塚古墳発掘記(仮)」(2016.1.22～)</p> <p>●特別展「谷戸の農業歳時記(仮)」(2016.3.12～7.11) 多摩丘陵の谷戸で営まれてきた農業と作物を紹介します。</p> <p>●植物観察会特別講演「植物の多様性の進化(仮)」(2016.1.14) ●古文書講座中級コース(2016年1月開催予定) 【URL】<a href="http://www.parthenon.or.jp/museum/">http://www.parthenon.or.jp/museum/</a> 【Twitter】<a href="http://twitter.com/par_tama_museum">http://twitter.com/par_tama_museum</a> 【Facebook】<a href="https://www.facebook.com/25thparthenon">https://www.facebook.com/25thparthenon</a></p>					

22	<b>東京都立埋蔵文化財調査センター（042-373-5296）</b>				
	多摩丘陵の埋蔵文化財を展示。遺跡庭園「縄文の村」を併設。東京都埋蔵文化財センターが管理運営。				
開館時間	9:30～17:00	休館日	12/29～1/3(年末年始) 3/7～3/18(展示替え)	入館料	無料
<p>●縄文の貝輪作り教室(10.3) ●「縄文の村」自然観察会②・勾玉作り教室(10.10)</p> <p>●縄文食体験①・②(①10.24②10.25)</p> <p>●日野市郷土資料館との共同事業「勝五郎生誕200年ウォーク-多摩のお墓と勝五郎生まれ変り物語-」(11.3)</p> <p>●トンボ玉作り教室④・⑤・⑥(④11.7⑤01.09⑥03.05) ●第3回文化財講演会(11.14)</p> <p>●古代カマド作りと食体験(11.29) ●考古学実習「拓本を採ってみよう！」(12.5)</p> <p>●遺跡庭園であつたまろう！(12.4) ●映像上映会(2016.1.17)</p> <p>●多摩市共催文化財講演会(①2016.2.4②2.11③2.18) ●展示説明会①・②(2016.3.19)</p> <p>●平成27年度遺跡調査発掘発表会(2016.3.20) 【URL】<a href="http://www.tef.or.jp/maibun/">http://www.tef.or.jp/maibun/</a></p>					

10	<b>福生市郷土資料室（042-530-1120）</b>				
	福生の歴史・民俗・自然を紹介。膳枕倉も復元展示。				
開館時間	10:00～17:00	休館日	毎週月曜日（祝日の場合は翌日休館）、年末年始	入館料	無料
<p>●企画展示「武州下原刀の世界」（10.3～11.23）多摩地域で作られた下原刀を一堂に集め、その魅力をお伝えします。展示関連事業として、「刀剣研磨実演会」（11.1）と「下原刀製作工房見学会」（11.21）を実施します。詳細はお問い合わせください。</p> <p>●企画展示「大正月・小正月の飾りもの」（11.28～2016.1.24）福生市で現在でも見られるお正月の飾り物であるミキノクチと、その製作技術等を紹介しします。また、かつて西多摩地域で見られた豊作を願う小正月飾についても紹介しします。</p> <p>●特別展示「福生市の成り立ちと人々のあゆみ」（2016.1.30～4月中旬）福生市のこれまでのあゆみを、多くの実物資料や写真資料を通して紹介しします。 【URL】<a href="http://www.museum.fussa.tokyo.jp">http://www.museum.fussa.tokyo.jp</a></p>					

11	<b>瑞穂町郷土資料館（けやき館）（042-568-0634）</b>				
	瑞穂町の歴史・自然・民俗資料を展示。囲炉裏端のある民家を再現した「瑞穂の民家」もあります。				
開館時間	10:00～21:00	休館日	第3月曜日（祝日の場合は開館し翌日休館）、年末年始（12.29～1.3）、臨時休館日	入館料	無料（企画展は有料になることもあります。）
<p>●企画展「新収蔵展—瑞穂の伝統とくらし—」（9.1～11.3）近年、皆さまから寄贈して頂いた貴重な資料から、町の伝統や暮らしぶりを振り返ります。</p> <p>●企画展「写真で見る同時代の瑞穂-1973年-」（仮称）（11.15～2016年1月下旬）瑞穂町を拠点に活動したミュージシャン・故大瀧詠一氏がこの地に移り住んだ頃の瑞穂町の出来事や世相を、写真を中心とした展示で振り返ります。</p> <p>●企画展「ひなまつり展」（仮称）（2016年2月中旬～3月中旬）瑞穂町の家庭で大切に飾られてきたひな人形を展示し、瑞穂町におけるひな祭りの伝統を紹介しします。 【URL】<a href="http://www.mizuhokyodo.jp">http://www.mizuhokyodo.jp</a></p>					

12	<b>武蔵村山市立歴史民俗資料館（042-560-6620）</b>				
	武蔵村山の歴史・民俗・自然を狭山丘陵と武蔵野台地の開発などを通して紹介。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	第1月曜日、第3水曜日（祝日の場合は翌日）、12.28～1.3	入館料	無料
<p>●特別展「“ヒバチヤ” 田口家の火鉢」（10.3～12.13）※特別展期間中、10.27（火）から11.1（月）までは、くん蒸消毒に伴う臨時休館となります。</p> <p>●歴史講座「“ヒバチヤ” 田口家の火鉢」（11.14）講師：両角まり氏（東京都埋蔵文化財センター）</p> <p>●文化財見学会「村山の俳諧」（仮称）（11.28）講師：多田仁一氏（中央大学特任教授、市文化財保護審議会委員）</p> <p>●年中行事展「正月飾り」（12.19～2016.1.11） ●年中行事展「桃の節供」（2016.2.6～3.6）</p> <p>●自然観察会「狭山丘陵の早春」（2016.3.5） ●ミニ企画展「武蔵村山の戦争資料」（2016.3.10～3.31） 【URL】<a href="http://www.city.musashimurayama.lg.jp/shiryokan/index.html">http://www.city.musashimurayama.lg.jp/shiryokan/index.html</a></p>					

13	<b>立川市歴史民俗資料館（042-525-0860）</b>				
	立川の歴史や文化、自然風土を展示紹介。市内幸町には茅葺きの古民家園。				
開館時間	9:00～16:30	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）	入館料	無料
<p>●原始から近現代の立川の歴史、自然、くらしと道具に関する資料を紹介する常設展示。</p> <p>●企画展「中世の立川～武蔵武士・立川氏とその時代を探る～」(10.24～12.6) 中世の立川の様相を、立川氏文書や発掘出土資料から探ります。</p> <p>●東京文化財ウィーク関連事業「銅鉦鼓」（10.24～12.6）立河原合戦を実証する貴重な史料を、企画展に合わせて公開しします。</p> <p>●ミニ展示「砂川闘争肖像画展」（10.1～12.6）砂川闘争60周年にちなみ、闘争に関係した人を描いた肖像画を展示しします。</p> <p>●ミニ展示「ちょっとむかしのくらしとその道具」（仮）（12.22～2016.1.24）民具を展示しします。</p> <p>●ミニ展示「桃の節供展」（2016.2.2～3.6）市内幸町の古民家園でも展示しします。 【URL】<a href="http://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/shiryokan/rekishiminzoku/index.html">http://www.city.tachikawa.lg.jp/shogaigakushu/kosodate/kyoiku/iinkai/shiryokan/rekishiminzoku/index.html</a></p>					

14	<b>日野市郷土資料館（042-592-0981）</b>				
	日野の歴史・民俗・自然、幅広い分野の調査研究事業を市民とともに展開中。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）12.29～1.3	入館料	無料
<p>●特別展「ほどくぼ小僧 勝五郎生まれ変わり物語—勝五郎生誕200年記念展—」（～11.15）会場：日野市立新選組のふるさと歴史館（日野市神明4-16-1）入館料：大人200円／小・中学生50円 開館：9:30～17:00（入館は16:30まで）※毎週月曜休館（ただし10/12は開館、10/13は休館）程久保村の藤蔵が中野村の勝五郎に生まれ変わった話は、平田篤胤や池田冠山、小泉八雲の著作などで、実際にあった話として世界に知られることになりました。その全貌を紹介しします。</p> <p>●企画展「平和の尊さを語り継ぐまち～戦後70年平和展」（10.10～2016.1.11）</p> <p>●企画展「字限図（あざぎりず）で見る日野」（2016.1.16～4月上旬）（未定） 【URL】<a href="http://www.city.hino.lg.jp/museum/">http://www.city.hino.lg.jp/museum/</a></p>					

15	<b>首都大学東京91年館（042-677-1111・内線2041）</b>				
	大学所蔵の学術標本・資料、最新の研究成果を展示。				
開館時間	11:00～17:00	休館日	土～月曜日、祝日、夏季・冬季・春季休業期間ほか（臨時休館あり）	入館料	無料
<p>●常設展 本学内の7分野（動物系統分類学、植物系統分類学、地形・地質学、日本史学、考古学、社会人類学、芸術学）が保有する研究資料・標本類をご覧いただけます。</p> <p>●企画展「東京の海・山・島に—首都大学東京のフィールド研究と学外体験型プログラム—」（10.23～11.8）東京の島や山の「自然と社会と文化」は首都大学東京の重要な研究対象であり、学生・社会人教育の素材ともなっています。本展では本学各分野の研究者によるフィールド研究の内容と成果、また学外体験型教育プログラムについてご紹介しします。※会期中は大学祭「みやこ祭」（11.1～3）にもご来場いただけます。 【URL】<a href="http://www.comp.tmu.ac.jp/gakugei/index.html">http://www.comp.tmu.ac.jp/gakugei/index.html</a></p>					

16	<b>東大和市立郷土博物館（042-567-4800）</b>				
	東大和の歴史・民俗、狭山丘陵の自然を紹介。1千万個の星を映し出すプラネタリウムが評判。				
開館時間	9:00～17:00	休館日	月曜日（祝日の場合は翌日）祝日の翌日、12.28～1.4	入館料	無料（プラネタリウムは有料）
<p>●プラネタリウム特別投影 お月見投影（9.19）／クリスマス投影（12.20・23）</p> <p>●プラネタリウム：秋番組 「キロボとミラタ」／「プラネタリウムちびまる子ちゃん～星にねがいを」／「HAYABUSA BACK TO THE EARTH」（9.20～12.6）</p> <p>●企画展示「吉岡堅二展—旅の記憶—祈りのかたち」（9.19～10.25）法隆寺金堂壁画模写や中国の仏像をモチーフにした作品を展示</p> <p>●（仮称）東大和郷土美術館 秋の特別公開（10.17・18）10時～16時 ●企画展示「植物画を描く」（11.14～12.20）</p> <p>●ハンドベルコンサート（12.19） ●企画展示「ひなまつり」（2016.2.20～3.6）</p> <p>●収蔵資料展「（仮）装いの民具」（2016.3.19～） ●その他各種講座を随時開催 【URL】<a href="http://www.city.higashiyamato.lg.jp/index.cfm/35,0,366,html">http://www.city.higashiyamato.lg.jp/index.cfm/35,0,366,html</a></p>					

17	<b>東村山ふるさと歴史館（042-396-3800）</b>				
	「みち」をテーマに、東村山の歴史を紹介する。				
開館時間	9:30～17:00（入館は16:30まで）	休館日	月・火曜日（祝日の場合は開館し、その翌日以降の平日が休館）	入館料	無料
<p>●川越鉄道全通120周年記念企画展「鉄道たちの交差点—東村山近代化の夜明け—」（9.26～12.20）本年は川越鉄道が全通して120年になります。これを記念し、東村山駅を主要なテーマに据えながら、東村山における鉄道の発達と、鉄道が与えた地域の発展や影響を、古い写真を中心に紹介していきます。付随事業：【散策】鉄道史跡を歩く（10.24）、【講演会】東村山をめぐる鉄道の120年（11.21）</p> <p>●企画展「なつかしい暮らしと道具たち」（2016.1.14～3.13）昭和の高度経済成長期の暮らしとそれ以前の民家での暮らし、ふたつのむかしの道具の展示を行います。平日午前中には、市内の小学校3年生が「昔さがし」の授業で訪れ、職員やボランティアの説明を受けながら勉強するに遭遇するかもしれません。みなさんのお越しをお待ちしています。 【URL】<a href="http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishifurusato/index.html">http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishifurusato/index.html</a></p> <p>◆八国山たいけんの里 東村山市野口町3-48-1 ☎042-390-2161 開館時間・休館日・入館料は上記ふるさと歴史館と同様。 【URL】<a href="http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishihachikokuyama/">http://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/tanoshimi/rekishihachikokuyama/</a></p>					